

**ツキノワグマ出没警報を****佐久・上伊那・木曽・北アルプス・北信地域に発出します**

ツキノワグマによる人身被害が県内で2週続けて複数発生し、また佐久地域、上伊那地域、木曽地域、北アルプス地域及び北信地域での8月の目撃件数が平常年の2倍以上と増加していることから、人身被害がこれ以上発生しないよう、県民の皆さんに改めて注意していただくため「ツキノワグマ出没警報」を発出します。

クマ出没警報発出期間

令和6年**9月9日（月）**から**10月14日（月）**まで

※県民の皆様へなお一層の注意と警戒をお願いするため、これまで全县へ発出していた「ツキノワグマ出没注意報」を以下の地域を対象に警報へ引き上げます。

区 域 佐久・上伊那・木曽・北アルプス及び北信地域

※それ以外の地域は「ツキノワグマ出没注意報」を継続
(令和6年6月5日(水)~11月14日(木))

クマの目撃状況等（令和6年度）

- 人身被害件数 10件（うち里地5件）

※6月4(2)件、7月2(1)件、8月2(1)件、**9月2(1)件**（）内は里地

- 里地での目撃件数は、5~8月末時点では例年を上回る件数で推移

※8月の目撃件数は**323件**(速報値)（平常年8月分227件）

<警報の発出基準>（次のうち複数項目が該当した場合に発出。今回下線部が該当）

- 堅果類の豊凶調査結果から凶作が予測（大量出没が予測）される
- ◎里地での目撃件数が月単位で平常年の2倍以上
- 里地での目撃件数の週単位の伸び率（前週比）が、当該週の属する月単位の平常年の伸び率（前月比）の概ね2倍以上
- ◎里地での人身被害が1か月間に複数回発生

※上記を基準に、出没や被害状況を総合的に勘案し、専門家の知見を得て決定する。

※上記の基準のほか、専門家等が発出を必要と認めた場合も、他の専門家と協議の上、発出を決定することができる。

県の主な対応

- 県民の皆様への一層の注意喚起
- 関係機関と連携したパトロールの強化 等

県民の皆様へのお願い

※別紙「県民の皆様へのお願い 秋のクマに注意!」をご参照ください。

警報を発出していない地域の皆様も、人身被害を防ぐため引き続きご注意ください。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0
~大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

担 当 林務部 森林づくり推進課
鳥獣対策係 塚平、田淵

電 話 (直通) 026-235-7273
(代表) 026-232-0111 (内線) 3264

F A X 026-234-0330

電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

秋のクマに嚴重警戒！

○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

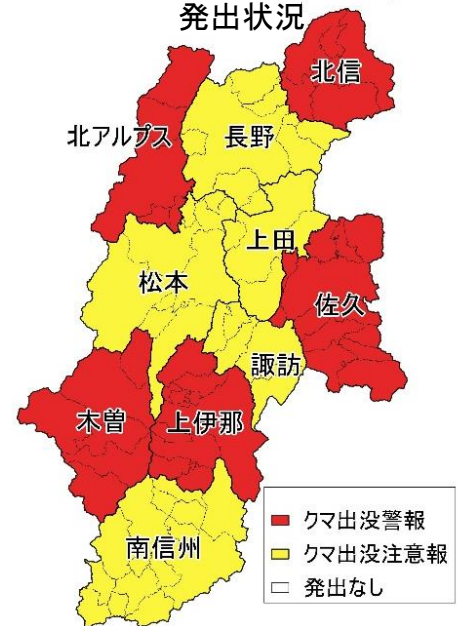
秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を、昼も夜も探し回ります。

エサを求めて里地に出没し、カキやクリを食べることもあります。

○ 晩秋から、ツキノワグマは冬眠をはじめます

冬の間は食べ物がいないため、クマは 11 月中旬頃から概ね 12 月末まで^{*}に、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。^{*}時期は目安です。地域やその年の気候により異なります。

ツキノワグマ出沒警報・注意報
発出状況



クマと遭遇したり、里地に近づけたりしないよう下記に注意してください。

◇ 山の中や山の近くでは、クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

クマは聴覚が人より優れており、人の存在を感じたクマは自ら逃げていきます。

クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らして人の存在を知らせながら行動してください。

◇ 山に限らず里地でも、朝夕の行動は避け、行動する場合は複数人で

朝夕はクマが活発に活動する時間帯です。この時間帯に山の中または山の近くで行動することは避けましょう。

また、キノコ狩りや散歩、登山などで山に入る際は、1人で行動せず、複数人で行動しましょう。

◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがあります。またキノコを採る森にはドングリを探すクマも現れます。キノコ等に夢中になりすぎないよう周囲を確認しながら移動しましょう。

◇ 食べ物の匂いを漏らさないよう注意する

クマは人間よりはるかに鋭い嗅覚があります。キャンプや登山等で山に食べ物を持ち込む際は、匂いの漏れない袋などへの密閉や残った食材は放置せず持ち帰るなど、クマを誘引しない心がけが必要です。人の食べ物の味を覚えたクマは危険を冒しても出沒を繰り返すようになります。

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、果実を収穫せず放置してしまうとクマのエサとなりクマを誘引してしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採すること、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置すること、ヤブは刈り払って見通しを確保するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサとなります。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、クマが人を怖がらなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。

※長野県では、ツキノワグマ出沒（目撃）マップを掲載しています。

以下 URL よりご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/sangyo/ringyo/choju/joho/kuma-map.html>